

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 103-0024

住 所 東京都中央区日本橋小舟町4番1号伊場仙ビル

氏 名 日本乳化剤株式会社

代表取締役社長 藤田 寿一 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本乳化剤株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区千鳥町1番1号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	界面活性剤並びに化成品の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	8,987	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2021 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2018年度)	第1年度 (2019年度)	第2年度 (2020年度)	第3年度 (2021年度)	目標排出量
排出量 (t-CO2)	(実) 16,591 (調) 16,470	(実) 15,833 (調) 15,720	(実) 15,818 (調) 15,687	(実) 17,128 (調) 17,090	(実) 15,835 (調)
削減率		(実) 4.6% (調) 4.6%	(実) 4.7% (調) 4.8%	(実) -3.2% (調) -3.8%	(実) 4.6% (調) %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	生産数量				原単位等の単位	t-CO2/t
	基準年度 (2018年度)	第1年度 (2019年度)	第2年度 (2020年度)	第3年度 (2021年度)		目標とした値
排出量原単位等の値	0.2889	0.2890	0.3162	0.2828		0.2758
活動量の値	57415.4	54769.1	50013.5	60551.1		-
排出量原単位等の削減率		0.0%	-9.4%	2.1%		4.5%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	生産量減少により排出量は4.6%減少した。 ポンプのインバーター化、白熱灯のLED化、工程改良により削減した。しかし、除害設備の洗浄による廃水量が増加、廃水発生量が多い製品の生産増加により、焼却炉の負荷が増加したため原単位の変動はなかった。	
第2年度	生産量減少により排出量は4.7%減少した。 除害設備の洗浄による廃水量増加、廃水発生量が多い製品の生産増加、また生産量減少に対して、電気・都市ガス等の固定エネルギー（固定費）の削減が追い付かず原単位は悪化した。	
第3年度	生産量増加により排出量は3.2%の増加となった。 洗浄方法の見直しや工程改良の他、焼却炉排熱利用による改善を実施し原単位は昨年度と比べ改善した。	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		省エネ効果の高い電気設備への更新、工程改良や洗浄方法の見直し等を進め排出量削減を進めたが生産数量に大きく左右される結果となった。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		設置から年数が経過している旧式の設備から省エネ効果の高い設備へ更新を進める。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物処理量削減による焼却炉の運転負荷低減 2. 工程改良によるエネルギー削減の推進
<p>第1年度</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物処理量削減による焼却炉の運転負荷低減 2. 工程改良によるエネルギー削減の推進 3. ポンプのインバーター化(追加実施) 4. 白熱灯のLED化(追加実施)
<p>第2年度</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物処理量削減による焼却炉の運転負荷低減 2. 工程改良によるエネルギー削減の推進 3. 白熱灯のLED化(追加実施) 4. 窓へ断熱フィルムを貼り付けエアコン使用量削減(追加実施)
<p>第3年度</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物処理量削減による焼却炉の運転負荷低減 2. 工程改良によるエネルギー削減の推進 3. 白熱灯のLED化(追加実施) 4. 熱交換器設置による排熱利用の推進(追加実施)
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>改善効果の高い焼却炉の運転負荷低減や生産頻度が高い製品の工程改良など優先順位を定め取り組みを実施した。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	○	焼却炉排熱利用実施
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光発電	規模; 10kW 導入場所; 川崎工場R&Dセンター	平成24年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物の減量化・分別化の推進 2. 運送委託業者に対する低燃費車使用やエコドライブの実施の要請及びモーダルシフトを継続して推進 3. 従業員の通勤に公共交通機関の利用の促進
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の減量化・分別化の推進 ・ 運送委託業者に対する低燃費車使用やエコドライブの実施の要請 ・ 従業員の通勤に公共交通機関の利用の促進
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の減量化・分別化の推進 ・ 運送委託業者に対する低燃費車使用やエコドライブの実施の要請 ・ 従業員の通勤に公共交通機関の利用の促進
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の減量化・分別化の推進 ・ 運送委託業者に対する低燃費車使用やエコドライブの実施の要請 ・ 従業員の通勤に公共交通機関の利用の促進

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	16,591 t-CO ₂	15,833 t-CO ₂	15,818 t-CO ₂	17,128 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	8,550 KL	8,191 KL	8,265 KL	8,987 KL
事業所の数	1	1	1	1

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
日本乳化剤株式会社川崎工場	川崎市川崎区千鳥町1番1号	16,591	15,833	15,818	17,128

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度